

歴史年表

市のおいたち

地質時代

御坂層形成化石	暖流系化石 ○レビドキクリナ、シオジブシナ（有孔虫、河口湖北岸天神峠） ○サンゴ ○オバキュリナ（西桂町下暮地殿入） ○アスツクリクリベウス（ウニの化石、西桂町不斗尾沢新倉マムシ沢） ○二枚貝、巻貝、カキ等26種（猿橋町ダコツ沢、上野原ハッ沢、暮地鉄沢）植物（浅海性、淡水性）ブナニレ（大月市初狩、河口湖周辺） 亜炭層 サメの歯、テングのつめ（下吉田不動沢、石屋沢）
富士山火山噴出物	安山岩、凝灰岩、集塊岩
富士五湖成る	新月形の湖—宇津湖—石花海（せのうみ）河口、西湖、精進、本栖、山中
アオツナマグナ	小舟山（下吉田）桂川断層

先史時代

縄文式文化の遺跡として、たて穴住居跡が発見されている。		
◎東桂地区		壁谷 堀之内式、勝坂式
十日市場向原	カソリE（中期）	古宮地
おいしがね	カソリII堀之内I（後期）	大野
御所海戸	阿王台（中期）、カソリE	農田 弥生式
古渡原	阿王台、勝坂式（中期）、カソリE	牛の鼻 弥生式
下山梨	カソリ	牛石 勝坂式カソリII、E
山梨マルビ		平栗 カソリ式
ハッ沢		入道沢
◎谷村地区		◎禾生地区
法能（1）	諸磯式（前期）、カソリ式E	古屋戸 諸磯式C・堀之内I・カソリE・B
法能（2）	安行式III（晩期）カソリ式E、諸磯式	小形山松葉 安行式C
十二割海戸	弥生式をふくむ	中谷 勝坂式・花輪台（早期）
戸沢金山	茅山式（早期）諸磯式A・B・C・堀之内式	大棚
引の田	押型諸磯、カソリ、堀之内、安行	亀石 （川茂）丸石
戸沢西畑	人骨、堀之内、カソリE	◎盛里地区
城の腰	弥生式	尾崎原 諸磯式B、堀之内Iカソリ式E
上細野		日影 諸磯式B、堀之内Iカソリ式E
権現原		与繩原アケ山 諸磯式B、カソリ式E
横吹		大平 安行式、石ソク、夏島式（早期）
◎宝地区		落合 勝坂式
正観寺	（川棚）諸磯式、カソリ式E	神門 夏島出
高畑	カソリE、B堀之内式	

大化1年	646	国郡里制が施かれ都留市を中心に都留郡と呼ばれる。
和銅2	709	佐伯公陰すでに郡内に入り領地して、法能に住吉神社を建てる。
神護景雲1	767	万葉集がこのごろでき、都留の歌「室蘆の都留の堤の成りぬがに児ろは言へどもいまだ寝なくに」あり。
延暦3	784	加藤景長が都留郡を治める。
" 16	797	甲相国境争う（都留郡鹿留村東といし沢）道志は相模領にふくまれる。
" 19	800	3月14日から4月18日まで富士山爆発して河口湖となる。
延喜15	915	甲斐から絹35匹を朝廷に献上する。
永観1	983	都留郡7郷。相模、古郡、福地、多良

		加美、征茂、都留
建久2	1191	頼朝富士浅間神社に参拝、鎌倉に幕府を開く。鍛冶屋坂希代氏頼朝にやじりを献じ賞せらる。
建武1	1334	建武の中興、護良親王鎌倉の土牢で殺される。離鶴姫は、従臣藤原宗忠、菊地武光、馬場正国らと首級をもって、小田原から青根村を経て秋山村無生野からこの地にくる。
貞和1	1345	岩殿山（大月市）に合戦あり
" 2	1346	宝境寺（東桂）を開く、（開山鶏岳永金和尚、開基義雲和尚）
" 4	1348	水上山西願寺を開く、（開山大江広元開基西願法師）

応永23 1416 武田信満、上杉憲秀と都留郡で戦い敗れて、木賊山にて自殺
 永享5 1433 富春山桂林寺(金井)を開く(開山格智禪師、開基小山田出羽守、中興開基小山田信茂)
 永徳4 1492 向富山用津院(金井)を開く(開山宗俊禪師、開基小山田信有) 甲州乱国となりはじむ
 明応1 1492 谷村全滅、大ききん、人馬多く死す。
 永正1 1504 12月国中に合戦あり、都留郡勢もける。小山田弥太郎など討死
 " 7 1510 国中、都留郡和睦ができる。
 " 8 1511 大儀山長生寺(羽根子)を開く。(開山一道光円、開基小山田信有)
 " 15 1518 駿河と都留郡和睦ができる。
 " 16 1519 武田信虎府中つつじが崎の館に移る。このころ小山田氏は武田氏の協力者となる。
 大永7 1527 小山田信有、中津森の百坪に館を建てる
 1529 中津森殿(小山田氏)内室、遠州へ行き姉と対面する。
 1530 中津森館が焼ける。越中守と氏綱は八坪坂で戦い、吉田衆まける。大慈山円通院を開く。(開基梅岩全芳)居士
 " 11 1531 補蛇山普門寺を開く。(開山天翁宗苑和尚)
 天文1 1532 小山田越中守死去。この年小山田氏谷村へ移る。(今の長安寺域) 信有谷村、岩殿山に要害域をつくる。水岸山泉福寺を開く。
 " 2 1533 谷村焼ける。大道山宝泉山専徳寺を開く。(開基明岳周光和尚)
 " 4 1535 相模の人数2万4千、小山田軍2千にて戦い大いに敗ける。
 " 9 1540 種月院耕雲院(夏狩)を開く。
 " 12 1543 宝池山正蓮寺(三吉)を開く。(開山澄空禪師、開基教善法師)
 " 21 1552 小山田出羽守死去、葬送供奉1万余と伝えられる。水源山永寿院(十日市場)を開く。(開山宗禪師、開基弘法大師)
 永禄1 1558 石頭山長慶寺(夏狩)を開く。(開山東原西室)
 元亀3 1572 竜石山長泉院(鹿留)を開く。(開山東陽得春)
 天正10 1582 甲州一國が家康の領有するところとなる 小山田信茂一族織田氏のためにほろぼされる。都留郡の領主として、徳川の家臣鳥居右衛門元忠(1万8千石)
 " 17 1589 徳川家康甲州に入り、都留郡を巡視して、宝境寺、長安寺を訪う。
 " 18 1590 天正10年から18年まで徳川領、元

忠在城する。これより豊臣領となり、三輪五右衛門近家の領地となる。
 文禄1 1592 加藤作内、朝鮮の役に従う。美濃国黒野に移る。浅野左衛門氏重(浅野長政の臣)郡内を領す。
 " 2 1593 浅野長政甲州に入る。左衛門氏重家老となる。
 " 3 1594 谷村勝山城を谷村の西南八窪山に築き大手をかぎって上谷村下谷村にわかつ。城下町の計画なる。文禄検地から夏狩のうち、十日市場をはなし、4ヵ村とする。(夏狩、鹿留、境、十日市場) 文禄検地18、4182石ときめる。
 慶長5 1600 浅野左衛門、浅野幸長と和歌山に移り、代って鳥居土佐守成次が領主となる。(徳川領)
 " 6 1601 成次谷村城に入る。寛永8年まで成次、淡路守成興二代32年を領地する。
 寛永10 1633 秋元但馬守泰朝、上州総社から谷村城にくる。領内に桑を植えさせ上州から新式の絹織機を移入して絹師にかしつける。
 " 13 1636 十日市場谷村間の大堰を起工(15年完成) このころから茶壺道中が始まる。谷村勝山城の北にお茶蔵をつくり、将軍用の茶を保存する。
 " 19 1642 領主泰朝死す。富朝相続
 明暦3 1657 富朝死す。喬朝領主となる。
 寛文3 1655 海気(織色郡内)織りだす。
 " 5 1665 領主による為替仕法はじまる。このころ絹紬の旅売はじまる。
 " 7 1667 郡内大凶作、郡内一揆おこる。
 " 8 1668 嘆願した村々の代表庄屋2名打首となる。日向惣左衛門(朝日) 宮下惣左衛門(大明見)
 " 9 1669 秋元喬朝、郡内検地、総村数111ヵ村、総高2万742石7斗8升5合検地改役人5名。検地の時、兵左衛門、今藤左衛門所持の聖徳大師像を徳重社太子堂にまつる。寛文年間秋元氏は家中の内職に郡内平(夏袴)を織らせる。この頃から織物が盛んとなる。今の家中川は織物染色等のため利用
 延宝5 1677 喬朝奏者となる。
 天和1 1681 減租嘆願に郡内19ヵ村代表江戸秋元邸に出す。2月25日代表者7名金井河原で打首となる。秋元喬朝若年寄兼寺社奉行となる。
 " 2 1682 西鶴「好色一代男」に郡内じまあらわれる。12月~1月の間、松尾芭蕉、谷村にきて秋元家臣高山伝右衛門宅にとどまる。
 " 3 1683 秋元喬朝、河口浅間神社を造営する。

貞享3 1686 西鶴「好色五人女」に郡内じまあり。
元禄1 1688 島絹、平絹、絹平などあらわれる。
" 5 1692 佐伯橋が落ちる翌年その東に架ける。
" 6 1693 江戸松屋善助たちは郡内絹貢所となり、買付けを独占。
" 12 1699 三代秋元喬朝は老中に任せられる。
" 16 1703 郡内織に綾が考案される。
宝永1 1704 このころ郡内織にしま、平に加えて綾が考案され多様化する。
秋元喬朝川越へ移る。このときから谷村城は廃城となり、徳川幕府の直轄となる。(泰朝～富朝～喬朝3代73年間)秋元家老高山甚五兵衛の宅を代官陣屋とする。柳沢吉保甲州3郡を領して甲府城主となる。
享保5 1720 近松門左衛門「心中天の網島」に郡内織とある。
" 7 1722 同上「心中宵庚申」に郡内じまみらる
" 16 1731 「甲州噺」に海気は田之倉などと郡内織の地域別の解説みられる。
" 16 1731 祖暁禪師が示寂した(65才)
寛延3 1750 米騒動おこる。
宝暦2 1752 森島其進、森島弥十郎生れる。
明和7 1770 このころ「遊子方言」の中に「かみき」(甲斐絹)あり。
天明4 1781 羽根子から桂川を分水して小形山へ通ずる二ヶ堰(600余間)ができて水田を開く。谷村代官中井清太夫、いも種を甲斐諸地方へ分けて作付させる。(せいだいも)の名を残す。このころ郡内じま八丈、黒八丈がさかんに織られる。
文化12 1815 御正体山妙心上人死す。(ミイラとなる)
文政4 1821 森島其進歿す。(60才)
天保4 1833 川茂小形山「二ヶ堰」が完成して水路を開く。
" 7 1836 平栗村、柄杓流川から用水路を開く。五穀みのらず都留郡農民一揆起る。8月谷村の米商人数戸をおそう。
" 13 1842 代官佐々木道太郎、手代平塚平太郎幕府の許可を得て谷村に教諭所を設ける。
嘉永4 1851 興讓館を開き一般子弟を教育する。これが明治4年谷村学校となる。境村天野開三、江戸品川のお台場を築造
安政2 1855 江戸の俳人、田川卓郎、谷村に遊び郡内紀行「庭日より」を刊行。
明治2 1869 甲斐府を廃して、甲府県とし郡内谷村に支庁を置く。
" 4 1871 甲府県を廃して、山梨県をおき、土肥実匡が県令となる。小野、熊井戸、菅野合併して開地村となる。興讓館を谷村学校とする。
" 5 1872 県庁内に山梨裁判所をおき、谷村に谷

村区裁判所をおく。
谷村支庁を廃して、出張官をおく。谷村郵便局をおく。
明治6 1873 谷村区裁判所を廃す。谷村、金井、大幡、鹿留、平栗、夏狩、三吉小学校開校、ウィーン万国博覧会へ銅屋と次衛門らが出品して入賞する。「海気」と銘記してある。
境、天野開蔵父子、東京新道(東京～甲府)の計画書を県へ出す。
" 8 1875 上谷村、下谷村、合併して谷村となる。(1月19日)川棚、厚原、平栗、加畑、大幡、金井、中津森村合併し宝村となる。四日市場、古川渡、川茂、小形山、田野倉、井倉村合併し禾生村となる。与繩、朝日馬場、朝日曾雌村合併し盛里村となる。十日市場、夏狩、鹿留、境村合併し、桂村となる。法能、戸沢、玉川村合併し三吉村となる。田野倉、昇小学校開校
昭治9 1876 左界、誉崇、盛里、尾崎、開地小学校開校
" 10 1877 谷村区裁判所をおき都留郡を管轄す。県病院谷村分院ができる。谷村警察署を設ける。
" 11 1878 郡制を施き都留郡が2郡に分れる。南都留郡町村役所を谷村におく。谷村の小林宇十郎、同サダは熊本県知事富岡敬明に招かれて県営勸業場で甲斐絹の製織の技術指導をする。
" 12 1879 公設消防夫設置する。政伝小学校開校(開地)谷村にコレラ病発生
" 13 1880 猿橋警察署出張所を谷村におく。
" 17 1884 饒益銀行を谷村におく。宝鉦山試堀が行われる。茨木加波山事件の赤井景韶、石川島監獄を脱出して宝村に潜入。
" 18 1885 谷村大火あり、100戸焼失。
" 19 1886 南都留郡に郡立色染所開設、県令を知事と改め、藤村紫郎知事となる。
" 20 1887 郡立南鶴高等小学校、長安寺を仮校舎として開校同25年に学制の改正で廃校
" 22 1889 町村制改正により戸長は村長となる。
" 25 1892 谷村高等小学校開校する。
" 26 1893 桂村分村東桂村、西桂村となる。
" 29 1896 甲斐絹業組合結成。谷村は谷村町となる。(3月7日)南都留郡立染織学校を谷村町におく。
" 30 1897 このころから夏狩特産の五裏(いつうら)が織りだされる。南北都留染物同業組合が結成される。
" 33 1900 県立中学校都留分校を谷村町におく

(同36年大月へ移転する)

昭治36 1903 富士馬車鉄道会社、小沼から大月間営業開始
谷村電燈会社創立出力70馬力、燈数1,200個

〃 37 1904 谷村町営上水道の計画。宝鉦山開鉦

〃 38 1905 県立工業試験場設置される。南都留郡甲斐絹同業組合が設置される。

〃 39 1906 南都留染織学校を県立工業学校とする。私立青藍幼稚園設立。

〃 40 1907 大水害、宝村、田畑48町歩人家92戸、盛里村田畑12町歩人家9戸などを流失。米沢から力織機を購入して、甲斐絹の機械化をはかる。

〃 42 1909 甲州八端織機始まる。

〃 43 1910 工業学校を都留中学校とする。

〃 44 1911 十日市場、夏狩、左界、鹿留小学校を合併し、東桂尋常小学校とする。

大正2 1913 鹿留発電所創設される。

〃 3 1914 夏狩大火41戸焼失する。

〃 6 1917 広幅力織機、郡内で100台に達す。町立谷村実科高等女学校設立される。

〃 7 1918 禾生村大火21戸焼失。

〃 8 1919 谷村町営火葬場できる。

〃 9 1920 南都留郡立実業学校開校。谷村発電所創設

〃 10 1921 谷村町上水道工事着工

〃 11 1922 上水道工事完成。夏狩発電所創設

〃 12 1923 工業学校へ郡立実業学校併置し、谷村工商学校に改める。
町営谷村発電所を創設する。

〃 13 1924 川茂発電所創設される。

〃 15 1926 谷村町職業紹介所開かれる。このころ谷村八端にジャカード応用の絞八端があらわれる。

昭和2 1927 谷村実科高等女学校、谷村高等女学校に昇格

〃 3 1928 谷村町役場庁舎新築(8月)

〃 4 1929 富士山麓電気鉄道開通(大月～吉田間)

〃 6 1931 谷村高等女学校は県立谷村高等女学校となる。

〃 9 1934 谷村町営公益質屋開業する。

〃 13 1938 町営職業紹介所が国営となる。

〃 16 1941 第二次世界大戦始まる。

〃 17 1942 南都留地方事務所設置される。三吉村、開地村、谷村町に合併
町営電気事業、関東配電株式会社へ統合

〃 20 1945 第二次世界大戦終る
天皇階下行幸町内織物工場御視察

〃 21 1946 日本国憲法公布
農業改革始まる。

〃 22 1947 学制変更により、6、3、3、4教育体制となる。

地方自治法公布
首長公選による第一回町長選挙行なわれる。

谷村町消防署設置
学制変更により谷村、東桂、宝、禾生盛里中学校創設

〃 23 1948 自治体警察発足、谷村町警察署設置
甲府地方裁判所(家庭裁判所)谷村支部設置。谷村簡易裁判所設置
甲府地方検察庁谷村支部設置。谷村区検察庁設置
甲府司法事務局谷村出張所設置
谷村検察審査会設置
谷村労働基準監督署設置
谷村電報電話局設置
谷村土木出張所設置

〃 24 1949 谷村町大火、339世帯焼失、罹災者1,586人
司法事務局谷村出張所を甲府地方法務局谷村支局と改める。

〃 26 1951 谷村町警察署、住民投票の結果廃止となる。
谷村職業補導所設置

〃 27 1952 谷村町教育委員会発足

〃 29 1954 谷村、東桂、宝、盛里、禾生の1町4ヵ村合併し、都留市制施行(4月29日)

市制20へのあゆみ

昭和29
一町四村合併都留市発足
市営住宅建設
与繩開田工事
谷村中学校屋体建設
都留短期大学設置申請、認可
農業委員選挙
鹿留財産区議会議員選挙
市長選挙、小林治郎氏当選
谷村第二小学校々舎落成
第一回市民体育大会
禾生第一小学校改築(第一期)
玉川簡易水道布設

昭和30
都留市民歌選定
田野倉簡易水道布設
都留音頭募集
禾生第一小学校改築落式(第二期着工)
都留短期大学開校
市教育委員選挙
市議会議員選挙
県議会議員選挙
住吉橋改良工事
市営住宅建設

都留電報電話局開設
谷村中学校屋体落成
夏季大学講座開講
八端小唄決る
第二回市民体育大会
市国民健康保険発足

昭和31

市営住宅建設
禾生第一小学校改築完成
市立図書館開館
夏狩十日市場線道路完成
夏季大学開講
鹿留財産区議会議員選挙
川茂、小形山線道路完成
第三回市民体育大会
谷村ガスKK、山新晒染工業KK誘致
住民投票の結果、分市問題解決
第一回市制祭
教育委員の選任
盛里かんがい揚水工事完成

昭和32

消防車購入(署)
東柱中学校舎建設
宝小学校御座石分枝増築
上水道拡張工事計画
大野橋改修
平栗橋改良
谷村町、谷村横町駅前通り舗装
農業委員選挙
検察庁、法務局の合同庁舎完成
第四回市民体育祭
市営住宅建設
市長選挙、秋山与三郎氏当選
市議会議員補欠選挙
禾生第一小学校改築(第三期)
矢花かんがい用えん提完成

昭和33

都市計画道路姥沢川通り線(第一期)完成。
中野橋架替工事完成。
下戸沢、法能、平栗、桂町、神門、小野簡易水道布設。
八幡橋大津線道路完成。
市営住宅建設
鹿留財産区議会議員選挙
元姥沢橋完成
井倉環状線道路完成
法能環状線道路完成

昭和34

都市計画道路姥沢川通り線(第二期)完成
市議会議員選挙
裁判所庁舎落成

県議会議員選挙
上水道(第一期)工事着工
大幡高畑水路及びかんがい用えん提建設
鹿留かんがい用水路工事完成
朝日馬場蛇の宮えん提建設及び護岸工事
台風7号被害甚大
ごみ焼却場完成
旭小学校舎建設
都留短期大学を四年制大学昇格申請
谷村三吉線道路完成
消防自動車購入(境)
第一回市民運動会

昭和35

都市計画道路姥沢川通り線(第三期)
都留文科大学開校
舟場橋完成
大学図書館完成
旭小学校校舎完成
朝日馬場古代遺跡発掘
城南橋建設
宮川上橋建設
市営プール建設
第二回市民運動会
三吉地区バス乗入れ
農業委員選挙
鹿留財産区議会議員選挙
住吉橋架替
前田橋建設
大平護岸工事完成
中津森下溝かんがい用えん提建設
市営自動車教習所建設
谷村中学校舎増築
第一回農業まつり

昭和36

消防自動車購入(小形山、朝日曾雌、署)
熊井戸かんがい用えん提建設
上水道拡張工事(第一期)完成
市営住宅建設
光陽精密宝石工場、東鳩製菓、大和工機工場誘致。
宮原簡易水道布設
桂町大野道路(宮下地内)完成
川茂橋完成
市長選挙、前田清明氏当選
谷村第三小学校完成
谷村第一小学校(第一期)建設
禾生中学校舎増築
宝小学校舎増築
都市計画道路姥沢川通り線完成(第四期)
第二回農業まつり
東柱中学校増築
谷村中学校 //
宝中学校 //

第三回市民運動会

昭和37

精薄施設宝山寮完成
移動市民相談室開設
谷村第一小学校（第一期）工事完成
高尾町通り舗装
都留市民会館完成
交通安全都市宣言
戸沢道路改良及びバス乗入れ
宝、初狩線道路建設着工
宝小学校増築完成
鹿留財産区議会議員選挙
東桂中学校屋体建設
市営住宅建設
境保育園開設
盛里保育園開設
心配ごと相談室開設
甲府縫製KK、生出石産KK誘致
第三回農業まつり
谷村中学校プール建設
金井下平護岸工事完成
谷村第一小学校（第二期）建設着工
谷村第二小学校給食施設完備
第四回市民運動会

昭和38

県議会議員選挙
市議会議員選挙
東桂沖バス乗り入れ
引の田六斗地橋改良
東桂中学校屋体完成
谷村第一小学校（第二期）建設完成
第三期工事着工
甲州織物展示会
市営住宅建設
禾生第二小学校特別教室増築
宝、初狩線道路改良工事完成
谷村座前通り舗装
第五回市民運動会
園芸振興協議会発足、きゅうり東京出荷に成功
農業委員選挙
川茂保育園開設
第四回農業まつり
谷村中学校プール完成
宝中学校プール着工
谷村第三小学校給食施設
大野環状線道路改良
大平水路床上及び護岸工事完成
与繩上平上下水路工事完成
境水路工事完成

昭和39

都留文科大学（第一期）建設着工

消防署庁舎建設
中央自動車道、市内柄杓流橋着工
市営住宅建設
古渡遺跡発掘、小形山遺跡発掘
教員住宅建設（木造）
市制10周年記念式典
市民水泳場（山中湖）設置
楽山開発水道拡張工事着工
谷村第一小学校（第三期）工事完成
"（第四期）着工
禾生小、中学校共同プール建設
谷村第三小学校を都留文科大学附属小学校に改組。
鹿留財産区議会議員選挙
消防自動車（田野倉、桂町、盛里）購入
市道舗装
旭小学校給食施設完備
禾生中学校増築
さくら保育園開設
宝中学校プール完成
教員住宅建設
禾生第一小学校増築
第六回市民運動会
細野線道路改良工事

昭和40

前田清明市長に再選
NHK都留局開局
谷村高校分離独立、桂高校設置きまる。
県政功労者に清水理一表彰
都留文科大学校舎（第一期）完成
谷村横町駅が名称変更し、都留市駅となる
市内中学校の5校を3校に総合整備
谷村中学校は都留第一中学校と名称変更
禾生中学校は都留第二中学校と名称変更
宝中学校は都留第一中学校分校となる
盛里中学校は都留第二中学校分校となる

昭和41

都留文科大学校舎（第二期）完成
上水道の給水使用料金改定
農業委員会委員の選挙区を大選挙区とした
上大幡の千代川橋が永久橋として完成
都市計画道路天神通り線（第一期）完成
都留第二中学校校舎四日市場地内へ完成
桂高校新校舎四日市場地内へ完成
谷村第一小学校校舎完成（全期）
台風26号の被害をうける
東桂愛郷学堂が改修された
県政功労者に秋山与三郎表彰

昭和42

天神通り線舗装新設
中津森大群橋完成
大幡丹保1号橋と2号橋完成

鹿留大野橋完成
熊井戸橋完成
都留第二中学校統合校舎（第二期）完成
都留文科大学音楽室移築
東桂小学校プール新設
四日市場、古川渡地区上水道区域へ編入
国保事業の内容改定（7割給付）とした
新市庁舎（上谷地内）建設着工
市の機構改革を実施、企画課等設置

昭和43

新市庁舎竣工（機構新庁舎へ移る）
旭小学校特別教室建設
緑町、熊井戸、法能住吉地区、上水道区域へ編入
都留市長期総合開発計画策定に着手
住民基本台帳の制定
天神通り線舗装完了
谷村第二小学校屋内運動場新築
都留第二中学校特別教室新築
北部簡易水道布設着工
小野地区農業構造改善事業着工
横断歩道橋が禾生一小前と東桂小前に完成

昭和44

長期総合開発計画きまる
電子計算機の導入
細野林道、鈴懸林道開設
谷村第一小学校屋内運動場新築始まる
都留第一中学校舎新築始まる
東桂小、中学校共同給食センター新設
北部簡易水道完成（宝地区）
都留市民憲章制定
財団法人都留市開発公社設立
古渡団地市営住宅（第一期）完成
小形山大原地内工業用地として開発公社が取得
桃園農道新設
市長選挙、富山節三氏当選

昭和45

中野原、川茂農道新設改良着工
戸沢林道開設着工
谷村第一小学校屋内運動場完成
都留第一中学校舎完成
市議会リコール問題発生
東部広域市町村圏協議会設立
上水道第四期拡張（滝下水源）完成
新塵芥焼却場完成
都留警察署下谷地区へ新築移転
鈴懸林道完成
小形山の尾県学校（藤村式建築様式）が市文化財指定第一号となる。
古渡団地市営住宅（第二期）完成
小野地区農業構造改善事業完成

昭和46

東部広域市町村圏事業年度に入る
ゴミの収集作業は大月都留衛生組合へ移管
県立技能専門学校小形山へ新築完成
法能、羽根子、川棚地区上水道区域へ編入
中央自動車道乗入口「オンランプ」完成
大幡川のカドミウム汚染問題となる
雇用促進事業団の住宅2棟下谷地区に完成
市議会議員選挙が初の大選挙区制で行われた
都留文科大学体育館建設着工
古渡団地市営住宅（第三期）完成
菅野川汚濁により上水道第二水源一時使用停止
法能遺跡発掘調査
灰釉梅花大壺縄文式かめが市文化財指定第二号となる。
老令者医療費助成金支給制度を設ける
厚原農道新設改良着工
農業振興地域指定
都留市立体模型完成
東部簡易水道布設着工
東桂蒼竜峽団地住宅用地として開発公社が取得

昭和47

都留文科大学体育館完成
東部簡易水道完成（禾生地区）
境簡易水道統合
都留文科大学附属小学校屋内運動場完成
都留第一中学校特別教室完成
大原は場整備（工業導入関連基盤整備）着工
古渡団地市営住宅（第四期）完成
山村振興事業、宝、盛里地区開始
中野原、川茂農道新設改良完成
小形山中谷遺跡発掘調査
重度心身障害児福祉年金制度を設ける
住吉遺跡で縄文時代中期の住居を復元
蒼竜峽団地市営住宅着工

昭和48

小形山大原橋完成
市民グラウンド完成
都留文科大学に後援会発足
県の南都留合同庁舎が大学前に完成
蒼竜峽簡易水道完成
蒼竜峽団地市営住宅（第一期）完成
農振法による農用地利用計画決定
桂町、大野線全面舗装完了
朝日馬場内樋の口橋永久橋完成
商工会事務局が市役所内へ移転
富山節三市長に再選